

最後になりましたが、會員の皆様の益々のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げますと共に今後とも関西支部の活動にご指導ご協力をお願い致します。



**第44回県支部総会開催**

山口県支部長 上田 博 祥  
(建築科昭和33年卒業)



新春を迎え  
江工会の皆様  
方には益々ご  
健勝のことと  
存じます。

さて、昨今の日本を取り巻く環境は多岐に渡り益々混沌として参っております。極東アジア諸国との摩擦、国内に

いたつては国債の発行残高も過去最高の540兆円で今年度からの税負担が一層厳しくのしかかってくるものと推察されます。加えて建築業界では建築基準法違反のマンション問題で騒然となっております。また小学生誘拐、殺害と世間を戦慄させる凶悪事件も発生し、私達を取り巻く環境はあらゆる面で厳しい局面を迎えております。

このような世相に対して我が江工会山口県支部卒業生は老若を問わず血気盛んで、毎年同窓生が集まり懇親を行っております。昨年度はメンバー

32名が2月20日に「みかん」の名産地で、大島瀬戸の雄大な潮の流れと大島大橋がマツチングしたすばらしい景色が一望に出来る玖珂郡周防大島町の「ホテル大観荘」にお集まりいただき、恒例の総会を兼ねた懇親会を行いました。江工からは、副会長・砂田様、事務局長・菅森様にわざわざ

当地までおいでいただき江工の最近の状況の説明を受けながら、在校当時の思い出話を酒盛りと共に和気あいあいと歓談しました。江工卒業と言っただけで何のわだかまりもなく、初対面の人でも互いの共通話題で持ちきりとなり、時間が過ぎるのを忘れるほどで

した。

最近では当山口県内の会社から江工から入社する人がいなく若い人の参加が少ないのが寂しい限りです。このため山口県外周辺他区の卒業生にも案内し今回は、岡山、北九州地区からの参加を頂きました。一人でも多くの懇親の和を広げようとして頑張っているところではあります。

山口県各地区を毎年持ち回りで開催しておりますので、ご参加を希望の方はご連絡ください。



第44回山口県支部総会 ('05年2月20日)



**江津市役所支部活動報告**

市役所支部長 木 村 恒 夫  
(建築科昭和42年卒業)

江工会會員の皆様におかれましては、益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。

江工会市役所支部は、一昨年の平成十六年十月一日をもって「元氣！ 勇氣！ 感動！ ごうつ」「江の川が育むイキイキ共同体」をキャッチフレーズに、島根県内各市町村の先陣を切って桜江町と合併し、新たに六名の會員が参画する中、総勢四十八名で支部活動を行い、二年目を迎えております。

このような中、新生江津市誕生にご尽力された、我々支部會員の先輩でもある砂田忠氏が平成十七年三月末をもって、江津市助役をご勇退されました。一抹の寂しさはありますが、今後とも、益々元氣にご活躍されますことを期待しております。

また、四月には室安江工会長をはじめ江工会事務局の先生方をお迎えするなかで、二年に一度の支部総会を開催し、

母校の近況報告を受け、少子化による学校運営の厳しさを感じたところですが、先生方との思い出話に花を咲かせ、校歌や応援歌を歌い楽しい時

間を過ごすことができました。

そして、昨年は江工ポート部の島田翔君がドイツで開催されたポートジュニア選手権大会への日本代表選手として参加し、活躍したことは記憶に新しいところで、これは生徒たちへの励みと市民の皆さんに明るいニュースを提供してくれ、大変素晴らしいことと感じております。

このような母校生徒の様々な活動、活躍に対して支部會員一同できる限りの支援活動が必要と考えております。

さて、島根県内の市町村合併も昨年の十月を持って終了し、五十九市町村が約三分の一の二十市町村となりました。これは都市間競争がより一層厳しくなり、自治体が生き残っていくためには市民の皆さんとの協働による特色ある地域づくりが重要であると叫ばれております。

新市発展のため、我々支部會員一同、微力ではありますが頑張っていきたいと考えておりますので、多くの皆様のご理解ご協力ををお願いいたします。

終わりに、江津工業高校の益々の発展と江工會員の皆様方のご活躍、ご健勝をお祈りしまして支部活動報告といたします。



江津市役所支部総会 ('05年4月15日)

支部活動

益田支部 事務局長 大石 環 (建築科昭和38年卒業)



江工会の皆様、元気に新年を迎えられたこととお慶

び申し上げます。

第2回江工会益田支部開催を実施致しました。当益田支部設立には学校長金山幸三先生並びに江工会事務局長佐々木一郎氏よりの強い要望を受け発足し、毎年総会を実施してお互い親睦を深めようという見がまとまり、平成17年度は11月19日に開催しました。総会に当り江工会会長室安延博様、岩井省悟教頭先生、事務局佐々木敏博様には遠路お出掛け下さり祝辞と学校近況報告を頂き、盛大な総会と成りお礼申し上げます。

私事ではありますがが中学卒業時、諸先輩方が白砂、青松の松葉、日本海の波頭の校章に黒蛇腹の帽子を被った姿に憧れを持ち入学、あつと言う間に卒業し社会へ出て42年が経ちました。益田地区に於て

知名度の高い先輩は知り得て

いました。この度の発足に關し益田市内及び鹿足郡内に籍を置いている人を調べたら、なんと168名の方が居住されていたのにはびっくりし全員に案内状発送、93名の方より通知を貰い30名の出席を頂いて盛大な懇親会となり、それぞれ卒業年度こそ違いますが連帯感の強い絆を築く事が出来ました。今世間を騒がしている耐震偽装、JR特急転覆、振込め詐欺、悪徳セールス、幼児虐待など暗い事犯ばかりの時代に突入し明日が読めない昨今、この様な時こそ会員同士情報交換しそれぞれの立場でお互い助け合いが必要ではなからうかと思われま

す。これからも更なる活動を拡げていきたいと思います。尚、益田市内にオープンし



益田支部総会 ('05年11月19日)

たグラントワ(芸術文化センター)石見美術館・いわみ芸術劇場)で演歌夢の競演に母校卒業生のプロ歌手「山崎いじ」さんが4月9日出演予定で益田支部としても応援をして行く事と成り、皆樂しみにしております。結びに江工会員の皆様のご健勝を祈念致しますと共に江工会益田支部を宜しくお願い申し上げます。

特別寄稿

ある 同窓会

旧職員 金田 健 男

江工会員の卒業年次は、何年何月卒という表し方をしています。何月を入れると暦年で言っていると分かって便利ですが、理由はこれだけではありません。卒業が必ずしも三月であつたわ

けではないことを日本の暗い歴史を思い起こしながら知っておかねばなりません。十二月卒業(繰上卒業)が二度ありました。

昭和十六年の文部省令に基つき島根県学務課長名で修業年限の臨時短縮に関する件という文書が出されています。

「現下ノ時局ニ鑑み緊要

大雪の年

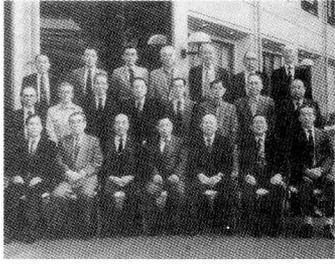
弥栄支部長 栗 栖 卓 三 (電機科昭和52年卒業)

二〇〇五年十二月の山陰地方は大雪となりました。十二月の積雪としては記録的なものになりました。クリスマス明けには垂直深度で七十センチメートルを越えていたでしょうが、こんな大雪は遠い昔に一度経験したことがあります。



弥栄支部総会 ('05年2月27日)

それは三十八年の事でした。そのころまだ私は小学校に行つていませんでした。ですが年寄りの話によると三メートルはあつただろうと話します。そのときの苦労話は畑の野菜取りの話です。何しろ採った野菜からのエネルギーより多くのエネルギーを雪かきに使わなければなりません。ですから食事はイモ類が中心でした。ところが、そのある日の夕飯に突然トンカツが出てきてびっくりするやら美味しいやらでした。そして、何十年もたつてから判明しました。当時家では豚を飼つておりそのえさが不足していたのです。ですからえさが無くなるその前に食べてしまったのです。大雪になる度に思い出すのです。



江津工業学校木材工業科  
第1回同窓会

左記のように開かれました。

第一回 平成四年五月  
ホテル川隅

第二回 依先生 二十一名  
平成六年五月  
有福グランドホテル 十五名

第三回 平成九年六月  
国民宿舎さんべ荘 十一名

第四回 平成十一年六月  
浜田千豊苑 十二名

第五回 平成十三年六月  
金城きんたの里 九名

第六回 平成十五年七月  
金城観光ホテル 六名

第七回 平成十七年六月  
温泉津町 輝雲荘 五名

同窓会の会話の様子はいかがだったのでしょうか。当然工業学校在学中の話題が中心であることは簡単に想像がつきます。では当時の江工生の学校生活といえどどんなものだったのでしょうか。今ではおよそ想像つ

かないものと思われれます。参考までに当時の教務日誌から今の日誌には無い言葉を探してみます。戦争に関連した言葉です。

海軍入営兵歓送、報国隊・特技隊・特別警備隊編成、奉安所修祓式、嘉久志海岸にて網引き、防空監視に関する訓練、勅語奉読、新日本レイコンより小銃七十五組借用、海軍志願兵検査、遺骨出迎へ、防空訓練、寒稽古、耐寒行軍応召者・徴用者歓送。

以上のような言葉です。

報国隊を編成して各現場へ動員された。小銃を借用してその訓練。遺骨出迎へ、網引きで捕った魚が四千尾、教師と生徒で分けたとか。その大変さが目に浮かんできます。それ故に同窓生の繋がりは今では考えられないほど強力な強い絆で結ばれているものと思います。これだけの回数と同窓会を開くクラスは無いのではないのでしょうか。ただ言っておられました。「歳をとって回をおうごとに出席者が少なくなりました」と。名簿によりますと三十八名卒業されて、お亡くなりになられた方が十五名おられます。いつまでもお元気でこ

の同窓会が開かれますことを祈念いたしております。

卒業時の求人の様子です。南洋庁長官からの就職斡旋依頼、海外からの求人には満州という文字が頭についているものだけ掲げます。

満州電気、満州電気化学、満州鉱業開発、南満州鉄道、満州飛行機製造、満州鉛鉱、満州重工業開発、満州鉱山、満州拓植公社

国内の民間求人依頼は、山陽電気軌道、三菱鉱業、川西航空機、中島飛行機、台湾精糖、日本楽器製造、三菱重工名古屋、東京芝浦電気、立川飛行機、愛知航空機、日産土木、清水組、松村組、鴻池組鹿島組、日本製鐵、大林組等々でした。

そして十二月二十二日十時、繰上卒業日が来ます。式次第は記念誌一七八頁に出ています。最後は国民歌「海行かば」で閉式です。この歌は「君に忠」の歌です。最後にこの歌を書いておきます。

海行かば  
海行かば水漬く屍  
山行かば草むす屍  
大君の辺にこそ死なぬ  
顧みはせし



株小笠原建築設計事務所

代表取締役 小笠原 万正

(建築科昭和51年卒)

昭和32年桜江町に生まれ、江陵中学校から江津工業高等学校の建築科に入学。在校時は弓道で県総体で個人優勝、全国大会は準決勝まで進む。昭和59年清水建設(株)を退職、個人で設計事務所を始める。

BMWでは大規模なもので昨年12月竣工)を手がけた。現在は群馬県の高崎駅前の再開発や大型文化ホール・新幹線の駅舎等大型プロジェクトに参加。

平成2年に(株)小笠原建築設計事務所を設立。平成12年には(株)ティー・エム・システム(人材派遣会社)も設立。東京都の立川本社をはじめ西日本支店(浜田市)・仙台支店・高崎事務所・中国事務所を開

今年も新卒者が五名ほど入社します。有り難い事に大きな仕事の依頼が続いており、まだまだ人材不足の状態です。来年も数名の新卒者を募集する予定です。江工の卒業生の方も来て頂ければと願っております。

の卒業生は七名が在籍)。

最後に、江津工業高等学校の発展を祈念致しますと共に、会員の皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

自社は大手ゼネコン(清水建設(株)・鹿島建設(株)・(株)竹中工務店)などの仕事が多く、大型プロジェクトに入り基本設計、実施設計、設計監理、施工図と一連の業務をこなす。特に現在では東京都港区で清水建設(株)施工の天王洲開発プロジェクトで多いときで四十数名の社員が常駐して仕事をしている。42階建・延べ面積28万㎡・総工費七百億円・平成19年4月竣工予定。

自社設計の最近の建物は、BMWのショールーム(国内



天王洲プロジェクト

# 平成16年度江工会一般会計決算書

# 工友会だより

## 工友会総会報告

く久しぶりに

高松市を訪れて

第22回という歴史をもつ工友会研修旅行に初めて参加できたことに、まず感謝しております。

久方ぶりの出会いのなか、懐かしさにはずむ会話を乗せた車は、午前八時、江工前を目的地へと出発いたしました。

今年の夏は特に暑い日が続きましたが、車窓に映る景色は心地よい秋の準備に入っているようでした。パ

スの中で前年度決算、本年度予算等の説明があり審議し、今年の総会を終了しました。

瀬戸大橋のほほ中間あたり、

一息の休憩をとった与島は南国を感じさせる建物やソテツが多く植わっており、上気した頬を瀬戸内海の風がさわやかに通りぬけていきます。宿泊地「讃岐会館」には午後四時過ぎに到着。厳粛な総会は車中で終り、懇親会では懐かしい面々との集いに心から楽しませていただきました。

二日目の朝は、松平の殿様の庭園だったという「栗林公園」でガイドさんの説明を聞

きながらの観光をしました。以前個人的に訪れたことがありますが、いつも素晴らしい庭に感動致します。さらに興味深かったのは、そのあとに見学した平家物語歴史館です。一階フロアに静かに居並ぶ人々、坂本龍馬、板垣退助、大平正芳など日本の歴史に大きく関わった四国の偉人たちの人形です。等身大で精巧に作られており、偉大さともに不気味ささえも感じられ、こ

こは三度目ながら非常に面白いひとときを過しました。

屋島にて素晴らしい展望に酔いしれ、昼食を頂いた後は、

決して心深いとはいえない私ですが、数々の静謐な建物や像の前では思わず手を合わせておりました。

帰路の車中では快活に話をする者、コクリコクリと居眠りをする者、それぞれ心地よい思い出にひたっているようでした。

いよいよ最後の観光地善通寺に向かいました。弘法大師誕生の地として有名な善通寺は、父善通の墓が善通寺になったといわれています。五重の塔がひときわ目を引き、その荘厳さのため息がもれます。

このたびは、素晴らしい研

修旅行と有意義な総会に参加させていただき、まことにありがとございました。

(江津市都野津町在住 南口 博記)



第22回工友会総会 ('05年9月21~22日)

### 【1】収入の部

費 目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	適 用
1. 繰越金	55,569	55,569	0	平成15年度一般会計より
2. 会費・入会金	798,900	808,200	9,300	平成16年度は2ヶ年分
3. 寄付金	10,000	145,000	135,000	団体2件・個人2件
4. 繰入金	400,000	0	△400,000	
5. 雑収入	31	5	△26	
収入合計	1,264,500	1,008,774	△255,726	

### 【2】支出の部

費 目	本年度予算額	本年度決算額	差 引	適 用
1. 事業費				
工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
会報発行費	250,000	200,000	50,000	江工会会報39号印刷費
記念品費	30,000	26,775	3,225	卒業生へ卒業証明用丸筒
会館運営費助成	150,000	150,000	0	
2. 管理費				
通信費	30,000	4,830	25,170	案内状、会報発送、他
印刷費	10,000	0	10,000	
消耗品費	5,000	0	5,000	
旅費	450,000	392,296	57,704	支部訪問、他
会議費	200,000	156,241	43,759	支部総会出席、他
慶弔費	50,000	38,535	11,465	弔電、もりかご
雑費	50,000	29,163	20,837	広告料、謝礼、他
3. 積立金	0	0	0	
4. 予備費	29,500	0	29,500	
支出合計	1,264,500	1,007,840	256,660	

収入総額1,008,774-支出額1,007,840円=差引残高934円

# 平成17年度江工会一般会計予算書

費 目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	適 用
【1】収入の部				
1. 繰越金	934	55,569	△ 54,635	平成16年度繰越金
2. 会費・入会金	1,101,600	798,900	302,700	平成16年度卒業生102名×300円×36月
3. 寄付金	10,000	10,000	0	
4. 繰入金	150,000	400,000	△ 250,000	
5. 雑収入	466	31	435	預金利息、等
収入合計	1,263,000	1,264,500	△ 1,500	
【2】支出の部				
1. 事業費				
工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
会報発行費	250,000	250,000	0	江工会会報40号発行
記念品費	30,000	30,000	0	卒業生へ卒業記念品
会館運営費助成	150,000	150,000	0	江工会館運営会計へ
2. 管理費				
通信費	30,000	30,000	0	案内状、会報発送、他
印刷費	10,000	10,000	0	年賀状印刷、等
消耗品費	5,000	5,000	0	
旅費	450,000	450,000	0	理事会、支部訪問、他
会議費	200,000	200,000	0	本部総会・支部総会出席
慶弔費	50,000	50,000	0	祝電、弔電、御祝、香典等
雑費	50,000	50,000	0	広告料、謝礼、他
3. 積立金	0	0	0	
4. 予備費	28,000	29,500	△ 1,500	
支出合計	1,263,000	1,264,500	△ 1,500	

事務局だより

(二〇〇五年(平成十七年)二月一日) 会報三十九号発行 各支部、地元企業、教職員、在校生等に配布。

二月二十日 関東支部総会

塚本 清支部長はじめ会員六十五名の出席、来賓として関西支部から二名と山陰中央新報社東京支社の森田氏が出席。

懇親会ではアトラクションとして、「春風亭鹿の子」の落語を楽しみ、最後に全員で応援歌や校歌を斉唱し盛会でした。 本部より室安会長・森脇教頭・岩田事務局員が出席。



春風亭鹿の子さんによる落語



関東支部総会 ('05年2月20日)

二月二十日 山口県支部総会

上田博祥支部長はじめ会員三十二名の出席(担当川岩国地区)、来賓として北九州地区から二名と岡山市から一名の出席。

懇親会では、地区別の自己紹介の後カラオケを楽しみ、最後に全員で応援歌や校歌を斉唱し盛会でした。

本部より砂田副会長・菅森事務局員が出席。

二月二十七日 弥栄支部総会

栗栖卓三支部長はじめ会員十一名の出席。

懇親会では、地元名物の猪鍋を囲み和やかな雰囲気、最後に全員で応援歌や校歌を斉唱し盛会でした。

本部より室安会長・沖田事務局員が出席。

二月二十八日 新卒者入会式

江工会入会者数百二名(平成十六年度卒業生)

田中昇氏(建築46年卒)より「前を向いて」の演題で「前を向いて一歩一歩進んで来て、現在の自分がある」ことを分かりやすく講話されました。

室安会長あいさつと講師紹介のため出席。



田中昇氏による入会式の講話 ('05年2月28日)

四月一日 人事異動

森脇孝充教頭転任

異動先 益田工業(教頭)

岩井省悟教頭着任

前任校 出雲工業(教頭)

元 江津工業 S62~H10

四月十五日 江津市役所支部総会

藤井進支部長はじめ会員十三名の出席、来賓として室安会長ら江津市議五名の

出席。役員改選で新支部長に木村恒夫氏(建築42年卒)が就任された。

懇親会では、石見神楽(大蛇)の舞で盛り上がり、最後に校歌を斉唱して閉会した。 学校より金山校長・岩井教頭・佐々木二郎前事務局長・菅森新事務局員が出席。

五月十五日 江工会館運営委員

員会

十六年度事業・決算報告、十七年度事業・予算審議。

特に厨房の湯沸し器の更新が決まった。築二十年を経過しており修繕費の増大する中、在校生徒数の減少で維持管理が厳しい状況である。また、会館管理を事務局員(校内江工会員)の減少で学校へ移管する事をお願いした。

五月十五日 江工会理事会

総会

十六年度事業・決算報告、十七年度事業・予算審議。

すべての議題が承認された。

総会や懇親会に温泉津町・川本町・桜江町・三隅町・浜田市からも出席、学校からは金山校長・岩井教頭・安野事務局長・難波総務部長らの出席で親交を深めることができた。

六月五日 関西支部総会

橋目福司支部長はじめ会員五十余名の出席、来賓として関東支部から三名の出席。

懇親会では、アトラクションに「安来節」でどじょうすくいや福引コーナーで大変盛り上がり、最後に校歌を斉唱して閉会した。

なお、平成十八年度は五十回の記念総会として開催す



総会の最後に全員で校歌斉唱



江工会理事会 ('05年5月15日)

ることが報告された。  
本部より室安会長・菅森新  
事務局長が出席。



関西支部総会での懇親会

六月九日 新事務局長ケガで入院

菅森（機械41年卒）新事務局長が校内で事故により島根中央病院へ入院。現在は在宅療養中。

八月十四日 石見瓦企業と交流会

関西支部の藤井浩史氏（建築29年卒）と関東支部の勝田友治氏（電気38年卒）のお世話で、昨年に続き地場産業である石州瓦の販路拡大を支援するため、瓦業者との意見交換をする交流会が江工会館で行われた。

十月二十三日 浜田市議会議員選挙で江工会員の当選者

江口修吾氏（電気41年卒）  
道下文男氏（機械45年卒）  
江角敏和氏（工化50年卒）

十一月十九日 益田支部総会

田淵直徳支部長はじめ会員二十九名の出席。  
懇親会では、校歌のBGMの流れる中、母校のかずかずの思い出や近況などを語り合い、和やかな中にも熱気あふれ大変盛会でした。  
本部より室安会長・岩井教頭・佐々木敏博事務局長が出席。

ご寄附のお礼

故 笠井薫様のご遺族様より  
ご厚志を江工会にいただきました。厚く御礼申し上げます。



二月五日

機械科三十四年卒(五九童会) 京都市（西陣魚新）にて24名参加。  
恩師盆子原良友先生ご出席。

四月十四日

機械科三十三年卒(三三会) 奈良市（ホテル三笠温泉）にて26名参加。  
桜は満開を少し過ぎたところ

ろで大変きれいなうえに、天候にも恵まれ市内観光も楽しく過ごすことができました。

恩師盆子原良友先生ご出席。  
五月十六日

五月十六日

機械科三十年卒(三十年会) 金城町（現浜田市）（金城観光ホテル）にて18名参加。  
江工会館集合。校舎見学後 椿の里（星高山中腹）、江の川河畔周遊し金城町へ。  
恩師盆子原良友先生ご出席。  
八月十一日

八月十一日

建築科三十八年卒(38会) 浜田市（千畳苑）にて18名参加。  
恩師小谷光正先生ご出席。



38会同窓会 千畳苑（浜田市）にて

八月十四日

建築科四十五年卒(卯辰会) 天津市（風の国）にて17名参加。

年開催

恩師小谷光正先生、三浦正成先生ご出席。  
八月十四日

八月十四日

建築科五十年卒 浜田市（千畳苑）にて20名参加。

恩師山田忠男先生ご出席。

八月十五日

建築科四十年卒 金城町（現浜田市）（金城観光ホテル）にて19名出席。  
十月二十日

十月二十日

機械科二十八年卒(紫旗会) 浜田市（金城観光ホテル）にて7名参加。  
恩師盆子原良友先生ご出席。

### 計 報

謹んでお悔やみ申し上げます  
旧職員 小村 優（電気）  
小西 輝彦（建築）  
大野 悦男（英語）  
森脇 康夫（社会）  
大畑 一由（建築）

会 員

山田 勇（木建12年卒）  
服部 一美（機26年卒）  
三浦 行雄（機29年卒）  
坂井（木村）末吉（建17年12月卒）

藤岡 喬（木建12年卒）  
五十嵐政弘（木芸29年卒）  
南口 壽雄（2建17年卒）  
谷口 重造（機30年卒）

### 編集後記

多忙な折り、快くご寄稿いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。おかげさまで第四十号を発行することができました。今号より、文字を少し大きくいたしましたがいかがでしょうか。

また、一面の写真は母校隣地に六月開院を目指して移転新築中の済生会総合病院を嘉久志町の丘陵地より遠望したものです。地域医療の中核施設として完成が待たれます。なお、今後とも、会報に対しましてご意見、情報等（同窓会報告、会員消息等）がございましたら事務局へご連絡をお願いいたします。

TEL 〇八五五（五）二二二〇  
FAX 〇八五五（五）二二六四



# 江工会会報

発行所  
江 工 会

島根県江津市江津町1477  
島根県立江津工業高校内  
電話 (代) 0855-52-2120  
郵便番号 〒 695-0011

## 会報発行に寄せて

会 長 室 安 延 博

(建築科昭和31年卒業)



会員の皆様、  
新年明けましておめでとうございます。  
ごぞいます。

健康やかに新春をお迎えのことと心よりお祝い申し上げます。

昨年は、世界に於て泥沼化するイラク問題、パキスタン、カシミール地方の大地震など、人災天災が後を絶たず、国内に於ても少年犯罪が益々凶悪化する殺伐とした社会形態を憂いました。

他方、愛知万博「愛・地球博」の成功、紀の宮内親王の御成婚、など慶びとする事柄も有りました。

長びく国内の景気低迷も年末財務省発表の2005年度一般会計税収は約3兆円増額し、更には5年振りに東京証券株価も1万5千円台に上昇し景気の快復が鮮明であるとされましたが？

取り分け三位一体改革での税収の少ない地方自治体を始めとする(島根県)県立高等学校には、少子化を含め厳しいものが有ります。

流行語大賞にあやかり「小泉劇場」の活力溢れる日本国の創造を「想定内」以上の発展を期待したいものです。

本校も国内外に広く産業に貢献する人材育成の拠点として七十余年その実績を知らし、示した所ですが、急激な少子化の煽りを受け新入生の確保すら危ぶまれ三学科(建築・機械・総合電気)の存続も困難さが現れつつ有ります。

学校は基より地域を挙げて本校の存続充実に取組まなければと実感しています。

反面、卒業生の減少傾向に對して求人は、必然的に比率上昇と成り就職率は良くなる傾向は、喜んで良いかどうか複雑な思いが致します。

昨年は江工会全ての支部総会に参加させて頂き会員の皆様の活躍振りを拝見し大変感激いたしました。

終りに、本年も校訓に倣い質実剛健・不撓不屈の精神で活躍され併せて、各支部のご活躍と会員皆様のご健勝をお祈りします。

## 新春のごあいさつ

校長 金山 幸三



江工会会員の皆様には新春をお元気で迎えにいられたこととお慶び申し上げます。

す。母校の教育活動に格別のご理解と温かいご支援を賜り誠にありがとうございます。

平成十七年度は懸案でありましたホームページを手直させて頂いていただきました。一度作ると数年間はそのままにしておくといいものではなく、発展性のあるものにと考えております。すこし硬い気がするかもしれませんが改良途中であるということで、見ていただければ幸いです。

早速、卒業生の方から次のようなファックスをいただきました。『大変長く待つていました(約三年間) 母校のホームページが、再開・改訂されたことは卒業生として大変嬉しく思っています。産む苦勞があつたわけですが、これからは育てる苦勞があるわけです。再開したからには、定期的なフォローをお願いします。担当者が旗振りで、実文面にはそれぞれの立場の人が書くようにしないと今までのような尻切れトンボになる可能性があるのでは?と危惧します。』

とは言え、期待してありますので、よろしくお願いします。』と期待と手厳しい指摘もあり



威容を見せ始めた済生会病院 右後方は母校本館

ました。それだけ卒業生の方は、母校への思いが強い現れと私どもは謙虚に受け止め、ホームページによつて、リアルタイムで母校の状況が伝えられればと考えております。今後もホームページには、ご期待とご指摘をお願いいたします。

今年度の就職戦線は、団塊の世代の退職を控えての求人と県外の景気が少し上向いたことが重なり久しぶりに多くの企業からの求人がありました。少子化の影響で本校の生徒も減少し、昔から本校と関係の深い企業からの求人全てには応えられず、何社か断らざるをえない状況でありました。求人をお願いできる企業は、本校の卒業生に大きく期待を持っておられることだろうと思います。その意味でも精一

杯生徒を育てて、後輩を先輩諸氏の下へお届けしたいと考えております。

平成十七年度の就職内定先企業は、県内企業二十四人、中国管内十八人、京阪神地区十二人、中部地区四人、関東地区三人です。進学については、二〇〇七年度からの全人に向かつてどんどん広き門になつていきます。既に、進学希望者二十九人の内、二十八人が推薦で決定しています。四月になり、後輩が先輩諸氏の下に参りました折には、ご指導をよろしくお願い致します。諸先輩方の母校へのさらなる温かいご支援をお願いいたしますと供に、皆様方のご活躍とご健康をお祈りして挨拶とさせていただきます。

## 江工会支部だより

### 支部活動報告

関東支部長 塚本 清

(建築科昭和40年卒業)



江工会会員の皆様には、ご壮健に新年をお迎えのこと

と存じます。

関東支部も新生され早や十三年目を迎えます。

杯生徒を育てて、後輩を先輩諸氏の下へお届けしたいと考えております。



会員親睦のハイキング

名の方が参加、ニッコウキスゲの花の群生も満開で目を楽しませてくれました。

七十周年記念事業で発刊された会員名簿を基に支部の会員の見直しをさせて頂きました。新たに百九十名余りの方が関東に在住されていることが分かり、会員の総数は一千五十一名と成り支部の名簿更新を行いました。

今年度の関東支部総会は、二月十八日(土)に開催します。アトラクションに「山崎ていじ」君の出演を企画、会員の相互交流をしたいと思ひます。

一昨年は、益田支部も創設され江工会の底辺の広がりを心よりお慶び申し上げます。江工会本部を中心に各支部の活躍、相互の交流が図られることを期待しております。

終わりに、江工会会員皆様方の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

### 支部活動50周年を迎えて

関西支部長 橋目 福司

(建築科昭和39年卒業)



江工会の会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。今年、関西支部は活動を始めてから50年を迎えます。

半世紀のながきに渡り活動を継続してこられたのも、諸先輩の江工会に対する熱意の賜物と深く感謝いたしております。

50年を迎えるにあたり一人でも多くの会員の方に参加していただきたいと思ひ昨年、総会案内の発送数を大幅に増やしました。

しかし高齢化の波は避けては通れないことを改めて痛感しました。故郷に引き上げられた方、他界された方、退会された方等々返信欄には事情は異なるものの様々なコメントを頂きました。

一つ一つのコメントには江工会にたいして愛情のこもった内容が多く、役員一同感激しました。今年50周年記念総会ということで、『工友会』

(OBの先生の会)の会員の先生をご招待して支部会員と楽しく団欒していただくことになっていきます。今年の総会は会場を『弥生会館』から『太閤園』に変更し、有福神楽団による『石見神楽』を招待し盛大に行いたいと考えています。この神楽団の中には江工出身の後輩もおられ、支部会員一同楽しみにしています。

又、江工出身の演歌歌手『山崎ていじ』君にも出演してもらい総会を盛り上げて頂く予定です。当日は、会員はもとよりご家族、親戚、友人の方々の出席も考えていますので出来るだけ多く参加して頂くようお願いいたします。

昨年末には支部の運営にご尽力頂いた先輩旧役員の方々、又今後支部運営には欠かせない後輩の方、総勢21名の会員に出席して頂き懇親会を開催致しました。年一度の総会以外にこのように会員同士が顔を合わせる機会を設けることは、支部運営においては重要なことだと思っております。現在支部役員の悩みは、総会案内の転送が増加しており発送数が年々減少していることです。この会報をご覧になられた方で住所変更された会員の方は是非とも連絡をして頂きますようお願い致します。